

# ペーパータワー

## <課題>

おもりの重量に耐えることのできる紙のタワーを、なるべく高く作製したい。

## <ルール>

タワー作製に使用する用紙は最大40枚。用紙の使い方は自由。

完成したタワーは床もしくは机の上に置くこととする。

タワーを床もしくは机にテープ等で固定してはいけない。

制限時間経過後、全ての班で同時にタワーの頂上におもり1個を置き、10秒間その状態を保てるようにする。

## <評価>

おもりを置いた状態で10秒間持ちこたえたタワーのうち、最も高いものを作製した班を優勝とする。

おもりを置いた状態で10秒間持ちこたえなかったタワーを作製した班は、失格とする。

同じ高さのタワーが複数存在する場合は、使用した用紙の枚数が少ない班を優勝とする。

ペーパータワー発明工作授業の参考資料

日本各地のさまざまなタワーの紹介



五稜郭タワー	東京タワー	横浜マリンタワー	東山スカイタワー	ツインアーチ138	プレイパークゴールドタワー
北海道函館市	東京都港区	神奈川県横中区	愛知県名古屋市	愛知県一宮市	香川県綾香郡宇多津町
107m	333m	106m	134m	138m	158m
観光展望塔	総合電波塔、展望台など	観光交流施設、展望台、船舶通信用アンテナ等	展望台、防災行政無線	展望台	展望パーティ会場
下の柱の部分が、かっちりした鉄筋コンクリートの構造で、その上に柱から張り出して2層の展望室がある。	下で広がる4本の脚が鉄骨を組立てられていて、その脚が上で一体となり、尖ったタワーとなる。高さ150mと250mに展望台があり、展望台部分がタワーをたばねて、がっちりさせている。	下から上に向けて徐々に細くなるように、鉄骨が組立てられて、上部に全周囲が展望できる展望階がある。	4隅に組立てられた脚が、下から上まで伸びる。上部にピラミッド状のガラス屋根があり、その下にレストランがある。中間部に防災行政無線が設置されている。	2本の双曲線アーチが、中央部のエシベータ塔を支える構造である。所在地の一宮市にちなんで138mとされた。	鉄骨を組立てて、ひし形の平面形状として、上まで同じ形状で立ち上げている。金色のハーフミラーガラスで塔が覆われている。
2006年	1958年	1961年	1989年	1995年	1998年

タワーの写真は全日本タワー協議会のホームページから引用